

佛教學セミナー

第 10 号

-
- 真空妙有……………舟橋一哉…1
——佛教学と真宗学との接点——
プラマーナ・ヴールティカ為自比量章の順位……………長崎法潤…18
僧叡の研究(上)……………古田和弘…31

人と業績

- 佐伯定胤老師……………富貴原章信…50
——法隆寺の故和上を偲んで——

書評・紹介

- 桜部建：俱舍論の研究 界・根品……………平川彰…69
横超慧日編：法華思想……………勝又俊教…74
禪文化研究所紀要(創刊号)……………福島光哉…79

* * *

- インド佛教への道しるべ(4)……………安井広濟…85
——唯識佛教——

1969年10月

大谷大學佛教學會

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 8 号

恵心僧都と四明知礼(上)……………安 藤 俊 雄
——趙宋期における日中天台の交流——

根本説一切有部における帰依三宝について……………佐々木 教 悟
源信の教・観の性格について……………坂 東 性 純
——『観心略要集』を中心として——

撰大乘論における声聞乘のアーラヤの異門……………片 野 道 雄

《人 と 業 績》

常盤大定先生……………横 超 慧 日
——中国佛教史研究の大成者——

《書 評 ・ 紹 介》

安藤俊雄：天 台 学……………藤 吉 慈 海
——根本思想とその展開——

塚本善隆：中国仏教通史 第一巻……………三 桐 慈 海

平川 彰：初期大乘佛教の研究……………小 川 一 乗

* * *

佛教における体系と創造……………玉 城 康 四 郎

〒250 〒 20

佛 教 学 セ ミ ナ ー

第 9 号

懺悔について……………山 口 益

恵心僧都と四明知礼(下)……………安 藤 俊 雄
——趙宋期における日中天台の交流——

狂言綺語について……………白 土 わ か

《人 と 業 績》

ドクトル渡辺海旭……………桜 部 建
——真に学を愛した「現代的佛者」——

* * *

インド佛教史への道しるべ……………佐々木 教 悟

《書 評 ・ 紹 介》

鍵主良敬：華厳教学序説……………鎌 田 茂 雄
——真如と真理の研究——

武邑尚邦：佛教論理学の研究……………長 崎 法 潤
——知識の確実性の論究——

《海外学界ニュース》

ワシントン大学のインド学……………一 郷 正 道

* * *

「肇論研究」に見えたる慧達序の読み方に対する私見 ……神 田 喜 一 郎

〒250 〒 20

柳田先生は従来禅宗史の研究に精力を注ぎ、つぎ／＼と綿密な考証の成果を発表して来られたのであるが、その中から醸し出された歴史観に立脚して臨済の禅そのものへのアプローチをこの論文において試みられたものというべきであろう。あるいは久松先生が、伝統批判の標準の一つとして、出発点に戻って

本質を明らかにすべきことを述べておられるが、その方法を大胆に実行されたのだと受け取ることも出来る。
以上のように久松・柳田両先生の論文は、いずれも禅そのものに肉迫し、それによって今後の佛教学の方法に関しても貴重な指針を与えられたものである。

執筆 者 紹 介

舟 橋 一 哉

大谷大学教授・文博
日本学術会議会員

※リポジトリ非公開

平 川 彰

東京大学教授・文博
※リポジトリ非公開

長 崎 法 潤

大谷大学専任講師
※リポジトリ非公開

勝 又 俊 教

東洋大学教授・文博
※リポジトリ非公開

古 田 和 弘

大谷大学佛教学研究室嘱託
※リポジトリ非公開

福 島 光 哉

大谷大学専任講師
※リポジトリ非公開

富 貴 原 章 信

大谷大学教授・文博
※リポジトリ非公開

安 井 広 濟

大谷大学教授・文博
※リポジトリ非公開

賛助会員募集

次の要項で賛助会員を募集いたします。

○会費 年間 五百五十円（二冊分）

○二年間分 千円（特集号のとき

は特別会費を頂きます）

○申込み 京都市北区小山上総町

大谷大学佛教学研究室
佛教学セミナー編集部

*郵便振替用紙も御利用下さい。

（京都14172）大谷大学佛教学
研究室 代表者 舟橋一哉

既発行の「佛教学セミナー」を御希望の方も右記のところへお申込み下さい。

第一号 絶 版

第二号 絶 版

第三号 絶 版

第五号 僅 少

第四号、第六号、第七号、第八号、第九号の内、二冊以上お申込みの方は送料を研究室で負担いたします。

（第六号まで各冊二〇〇円、第七号より第九号まで各冊二五〇円）

編集後記

「佛教学セミナー」も五周年を迎え、発行部数も徐々に増刷の一途をたどっている。第十号には記念特集号を、という声もあったが、時期尚早という意見が多く、特集号は今回見送ることにした。

さて今号には平川彰先生と勝又俊教先生に書評をお願いした。お忙しい両先生には大変御迷惑をおかけしたことになる。また安井先生には第七号に「インド佛教学への道しるべ——中観佛教学——」を書いて頂いた因縁により、今回は「唯識佛教学」をお願いした。インド大乘佛教学を学ぶ者、特に初心者にとっては、資料的に詳しく書かれており、大変参考になることと思う。

ところで今号は諸事情により出版が非常に遅れて申訳けありません。今後はなるべく予定通り出版できるように努力致します。（N・F）

佛 教 学 セ ミ ナ ー 第10号

昭和44年10月25日 印刷

昭和44年10月30日 発行

¥ 250

編 集
発 行

大 谷 大 学 佛 教 学 会

発 行 者 舟 橋 一 哉

京 都 市 北 区 小 山 上 総 町 22
振 替 京 都 14172 番

印 刷

中 村 印 刷 株 式 会 社

発 売 所

文 栄 堂 書 店

京 都 市 中 京 区 寺 町 通 三 条 上 ル
振 替 京 都 2948 番
電 話 (231) 4712 番

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

Articles :

“真空妙有” in Shin Buddhism.....*Issai Funahashi* (1)
 —A Nexus between Shinshū and Buddhist Scholarship—

The Order of the Chapter on Inference in
 the *Pramāṇavārttika**Hojun Nagasaki* (18)

A Study on *Seng-jui* (352-436) (I)*Kazuhiro Furuta* (31)

Men and Their Work :

In Memory of the Late Jōin Sayeki.....*Shoshin Fukihara* (50)
 —The Former Master of the Hōryūji Temple—

Book Reviews :

H. Sakurabe: A Study of the *Abhidharmakośa*.....*Akira Hirakawa* (69)

Saddharmapuṇḍarīka Thought, compiled
 by Enichī Ōcho.....*Shunkyo Katsumata* (74)

Annual Report from The Institute For
 Zen Studies (No. 1)*Kosai Fukushima* (79)

* * *

A Guide to Indian Buddhism (IV)*Kosai Yasui* (85)
 —The *Yogācāra-vijñaptimātravāda*—

Reports :

PUBLISHED FOR
 THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
 OTANI UNIVERSITY
 KYOTO, JAPAN